

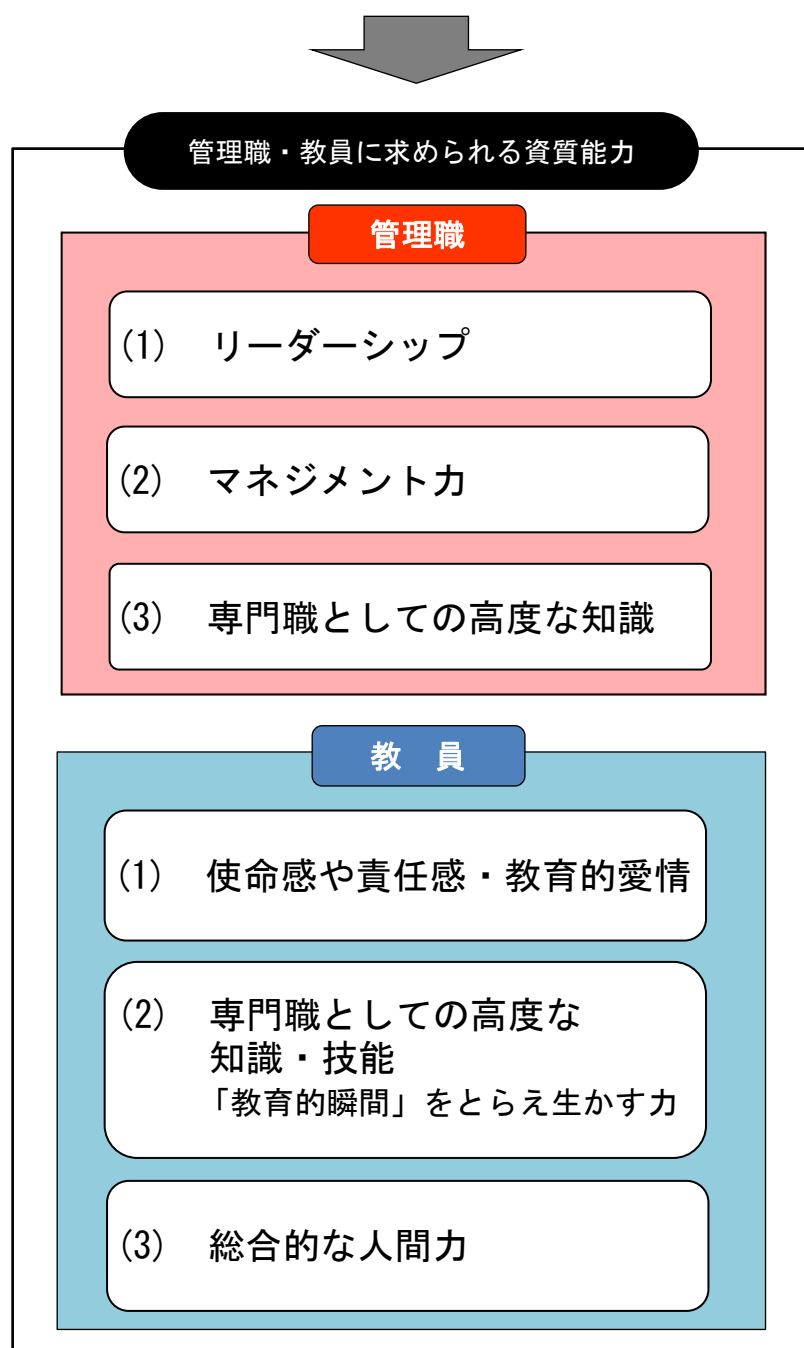
人材育成基本方針及び育成指標を踏まえた教員研修計画—概要—

人材育成基本方針

広島市教育委員会では、広島の子どもたちを「心身ともにたくましく思いやりのある人」として育成していくことを基本理念とし、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、規範性・感性・体力・コミュニケーション能力の四つの力の育成を柱とする広島らしい教育を推進している。

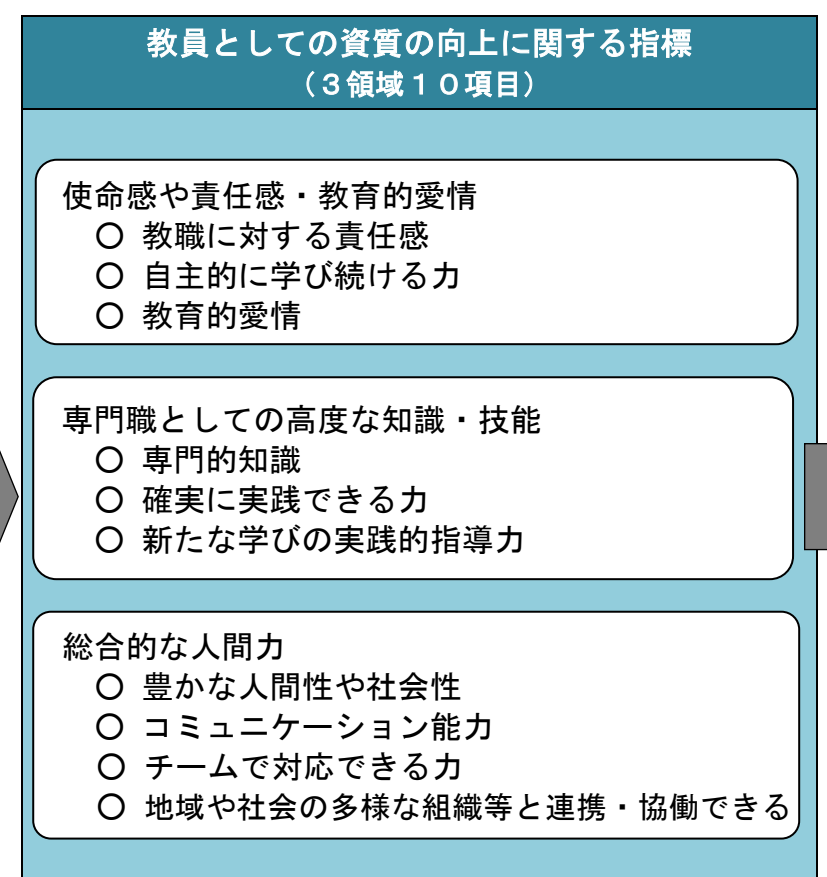
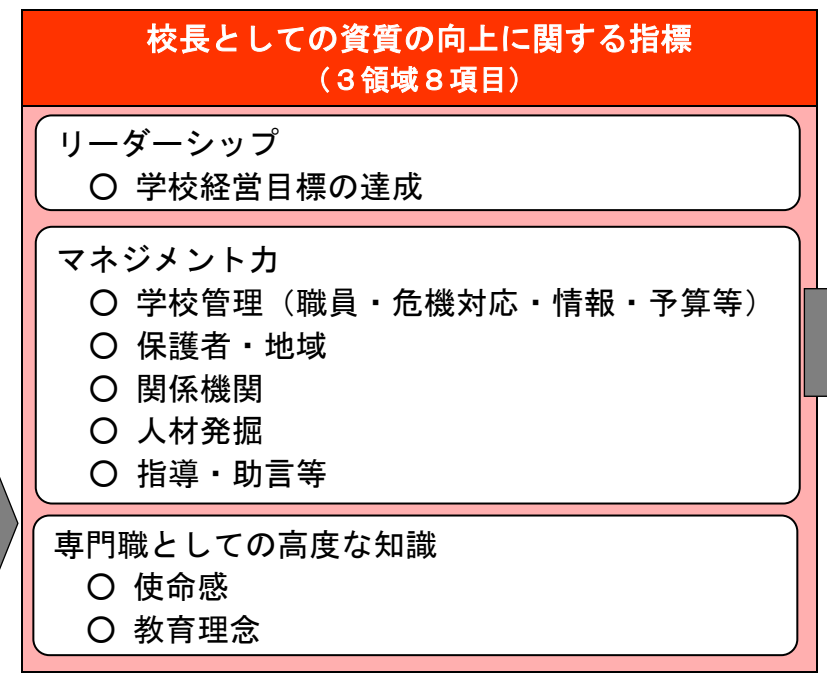
こうした教育を実現するためには、教職員一人一人が「教育的瞬間」をとらえ生かす力など、生涯にわたって必要とされる資質能力を向上させるとともに、マネジメント力を有する管理職のリーダーシップのもと、地域の力を活用しながら、チームとして組織的・効果的な取組を行う必要がある。

広島市教育センターでは、広島市教員研修体系に基づいた教育に関する専門的事項についての研修等を企画・実施し、学校の教育力を高める人材を育成する。



校長及び教員としての資質の向上に関する指標

「指標※」は、教員等が研修を通じて資質の向上を図る際の目安とするとともに、更に高度な段階を目指す手掛かりとなるもの。また、教員等の資質の向上を担う教育委員会と教員養成を担う大学等が共通認識を図り、身に付ける資質能力を明確化したもの。※ 教育公務員特例法の改正(H29.4.1 施行)に伴い策定、R4.12に一部変更。R7.4.1に養護教諭と栄養教諭の指標を追加。



教員研修計画

校長及び教員が「指標」を踏まえ、それぞれのキャリアに応じて研修や自己啓発に取り組み、意図的・計画的に資質能力の向上を図ることができるよう、経験年次ごとの研修内容等を具体的に示したものの。

また、主任・主事等職務別の研修や、授業づくり・学校づくりの推進者育成のための研修、自己の課題に応じ選択して受講する研修についても示している。

